

# 「消化管ストーマを保有する お子さんのケア」



イラスト by さかゆう

日本小児ストーマ・排泄・創傷管理研究会  
広報活動支援委員会 2020年作成

2011年、日本オストミー協会より厚生労働省への「ストーマ及びその周辺の状態が安定している場合など、専門的な管理が必要とされない場合には、ストーマ装具の交換は原則として医行為には該当しないものとするのが如何」という照会に対し、厚生労働省から同意の回答がなされました。

介護職によるストーマケアを想定してのやり取りでしたが「状態が安定している場合の装具交換は医行為にあたらぬ」という見解により、保育・教育現場でのストーマケアの拡大につながる事が期待されます。

# ★目次

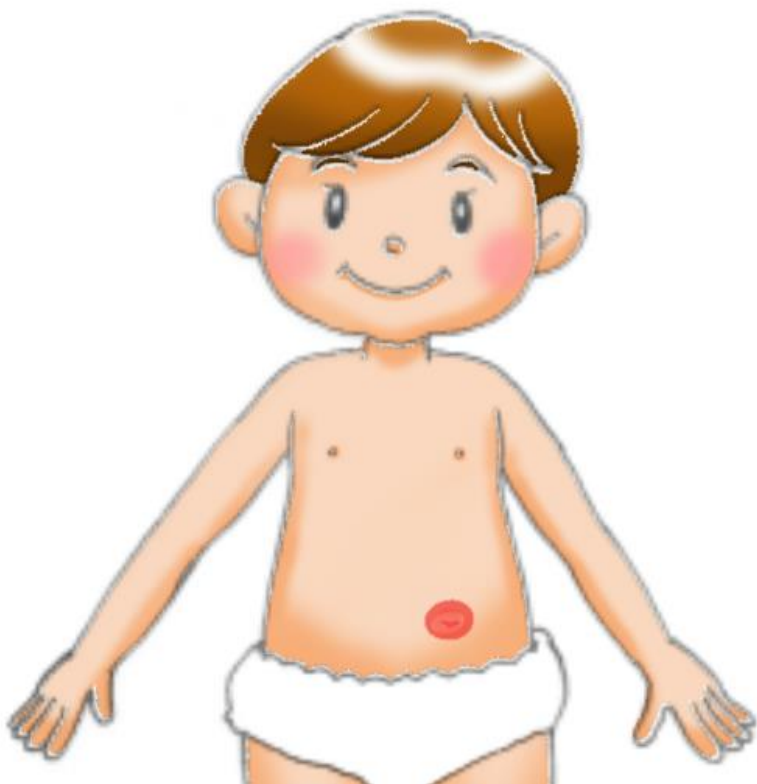
- ストーマとは
- 小児期に消化管ストーマを必要とする可能性のある病気
- 消化管ストーマの特徴
- ストーマ用品について
- ストーマケア
  - ストーマと便の観察
  - 便やガスの破棄
  - ストーマ装具の交換
- 成長過程でのストーマケア
- 日常生活
  - 食事・衣類・入浴・運動・水泳/水遊び

# ★ストーマとは

しょうかかん によろ

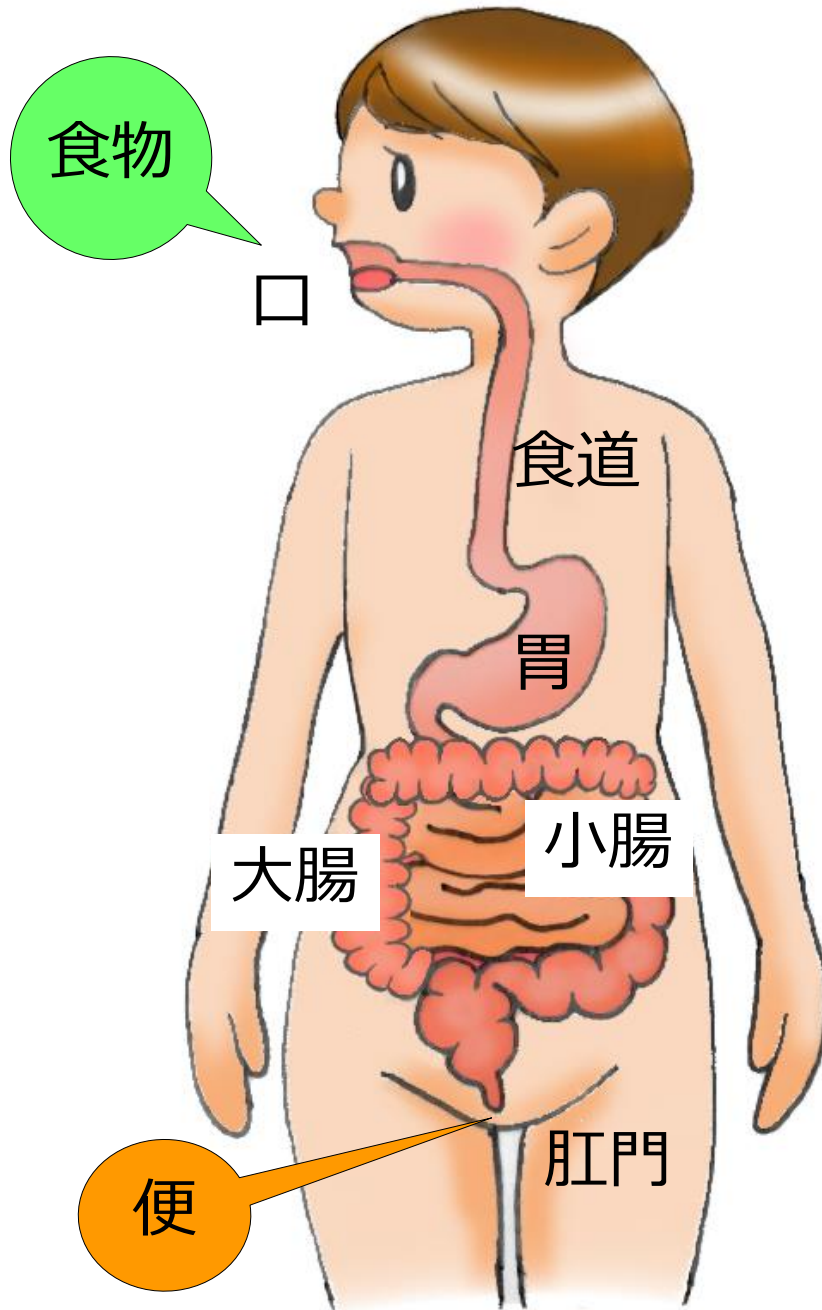
消化管や尿路を人為的に体外に誘導した開放口

日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会



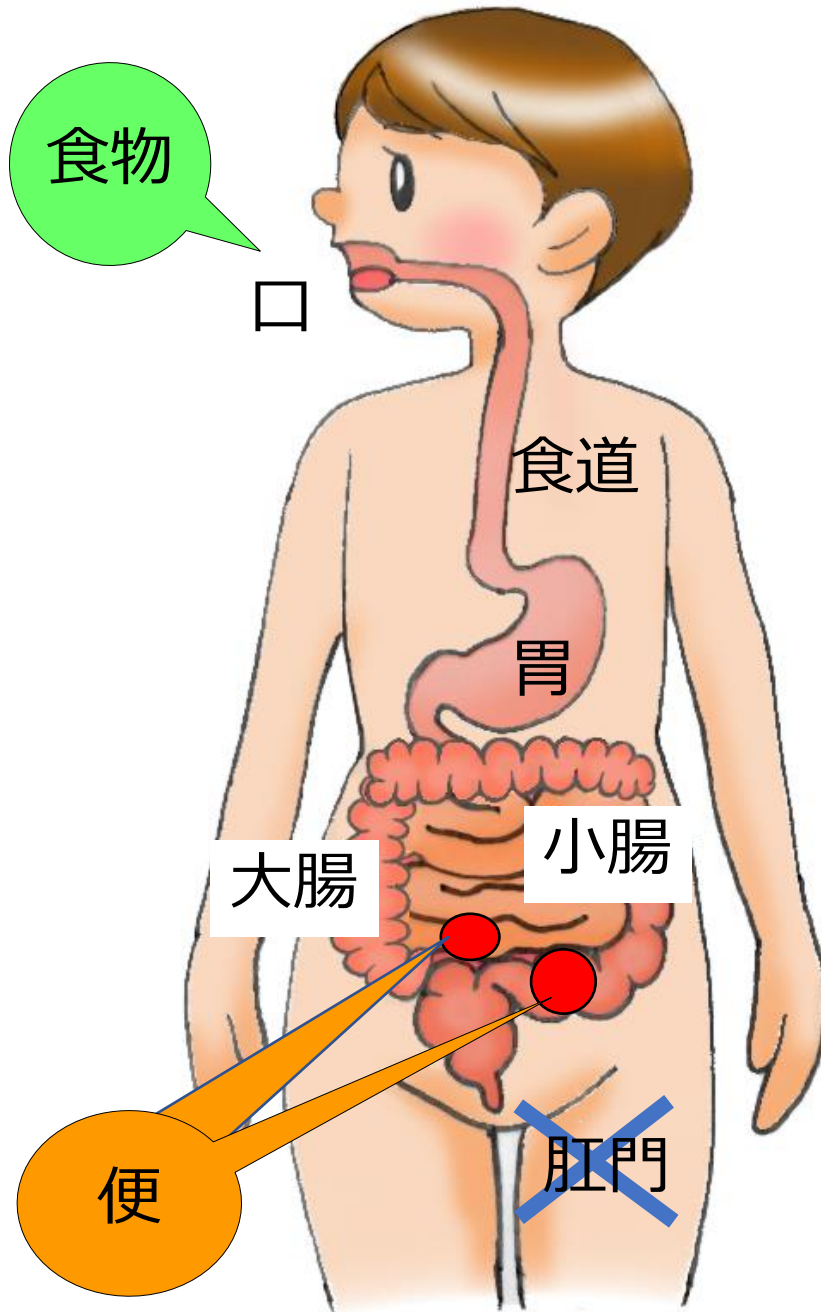
この資料では、消化管ストーマ  
(=人工肛門) について紹介します。

# ★通常の排便



食物は口から摂取された後、  
食道⇒胃⇒十二指腸⇒小腸⇒大腸  
の順に、消化・吸収されながら  
運ばれ、最終的に便として肛門  
から排出されます。

# ★消化管ストーマ (人工肛門) の場合



病気や外傷などで肛門からの排便が難しい場合に、小腸・大腸のいずれかを腹部に引き出し、便の出口とします。  
肛門と同じように、ガスも排出されます。

# ★小児期に消化管ストーマを 必要とする可能性のある病気

ちよくちょうこうもんきけい

● 直腸肛門奇形（鎖肛）

● ヒルシュスプルング病

● ヒルシュスプルング病類縁疾患

そうはいせつくうがいはん

ぼうこうちょうれつ

● 総排泄腔外反（膀胱腸裂）

● 炎症性腸疾患

くろーんびょう ・ かいようせいだいちょうえん

（Crohn病・潰瘍性大腸炎）

● 悪性腫瘍

えしせいちょうえん

● 壊死性腸炎

● 外傷

● その他

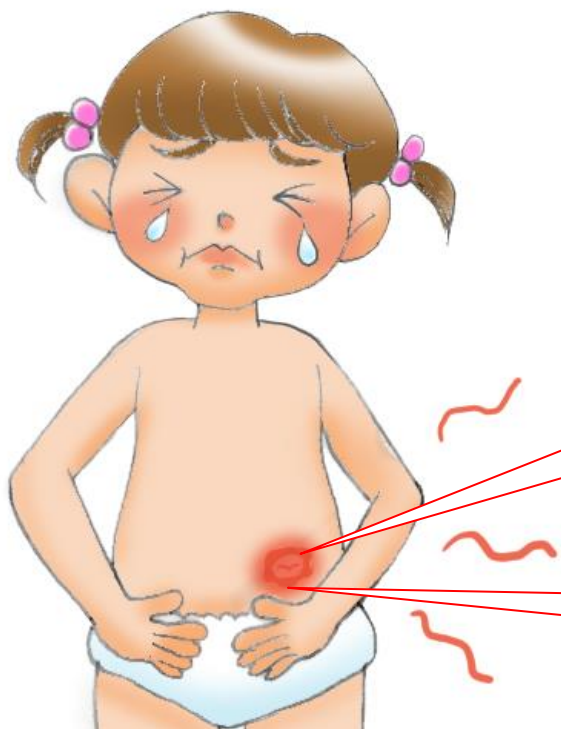
# ★消化管ストーマの特徴

- 便意を感じません。便意がなくても自然にストーマから便が排泄されます。
- 排便をガマンするなど、自分の意思でコントロールすることことができません。
- ストーマの表面は粘膜でできています。色は赤～ピンク色で、粘液で湿っています。
- ストーマから出血することがありますが、少量であれば問題ありません。



# ★消化管ストーマの特徴

- ストーマには感覚がありません。  
傷ができてても、痛みを感じません。
- ストーマの周りの皮膚は、傷ができたりただれることがあれば、痛みやかゆみを生じます。



ストーマ自体は  
傷ついても痛くない

周りの皮膚は  
傷つけば痛い

# ★排泄物の管理



- 便をためるための袋：ストーマ装具そうぐをストーマの位置に合わせて貼りつけ管理します。



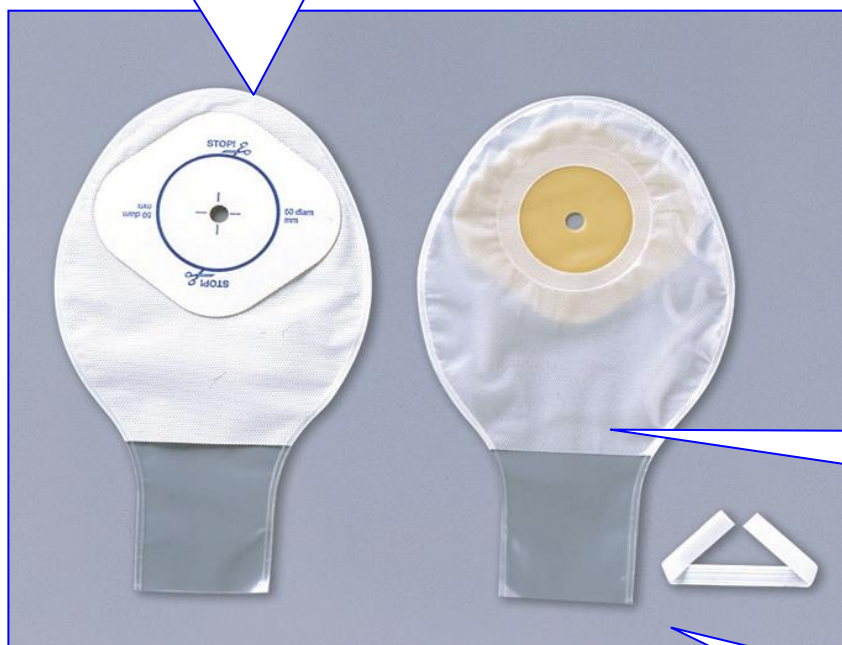
# ★ストーマ装具の構造

①体に貼り付ける部分：面板

めんいた

ひふほござい

面板は、主に皮膚保護材  
(排泄物の刺激から皮膚を守る/  
水分や汗を吸収するなど)で  
できています。



②便をためる袋部分  
：ストーマ袋

③便を捨てる部分：排出口

# ★ストーマ装具の構造



## ワンピース（単品系装具）

体に貼り付ける部分（面板）と袋部分が一体になっています。

ツーピースに比べて、薄く、安価な場合が多いです。



## ツーピース（二品系装具）

体に貼り付ける部分（面板）と袋部分を  
はめ合わせ（貼り付け）て使用します。

袋部分だけ小さな袋にはめかえるなど  
TPOに合わせて使用できます。

# ★ 排出口の形状

へいさぐ

袋と閉鎖具が一体のタイプ

袋と閉鎖具が一体でないタイプ



## 巻き上げ式

裾を巻き上げてマジックテープで止めます。

## キャップ式

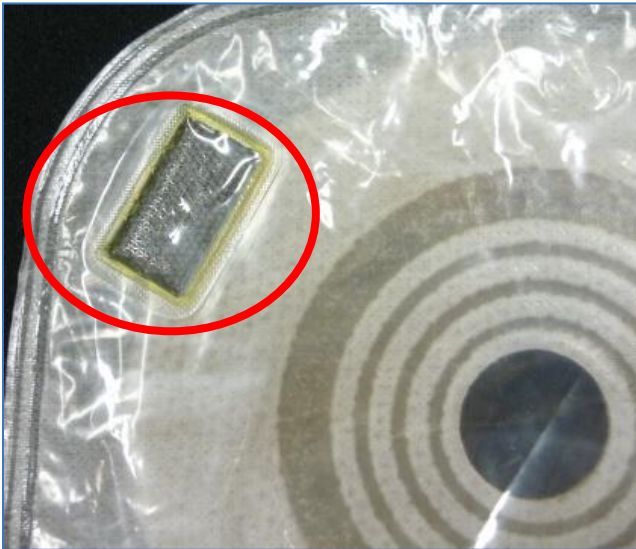
便が緩い場合などに扱いやすいキャップで止めます。

ワイヤーやプラスチックの閉鎖具、輪ゴムなどで止めます。

だっしゅう

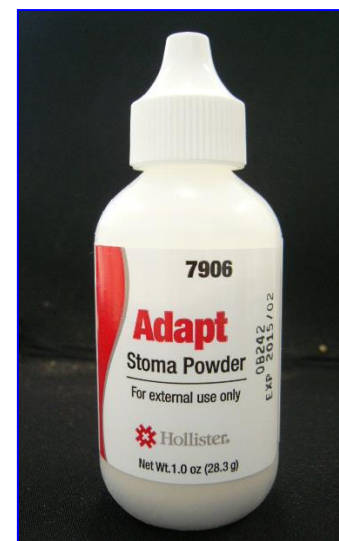
# ★脱臭フィルター

- ・ ストーマ装具がガスで膨らまないように、袋部分に脱臭フィルターが内蔵されているものがあります。
- ・ ガスが脱臭されてから装具の外に抜ける構造ですが、効果（ガスの抜け具合、脱臭具合）は様々です。
- ・ 入浴やシャワー時に目詰まりを起こさないよう、保護テープ貼付が必要なものがあります。



# ★ストーマ装具以外の ストーマ用品

- ・ストーマ装具以外にも、ストーマや皮膚、便の状態によって、様々なストーマ用品が必要な場合があります。



# ★ストーマ用品

## ：剥離剤（リムーバー）

- ・剥離を容易にし、皮膚のダメージを軽減します。
- ・しみ込ませるのではなく、皮膚と剥がしたいものの間に滑り込ませるように使用します。



スプレータイプ



滴下タイプ



ワイプタイプ



# ★ストーマ用品：皮膚保護材

「排泄・分泌物の皮膚接触を防止し皮膚を生理的状态に保つ作用がある吸水性粘着剤」を皮膚保護材といいます。

- ・ ストーマケアにおいて重要な役割を担います。  
排泄物の刺激から皮膚を守る  
排泄物の水分や汗を吸収する  
細菌が繁殖しにくい環境をつくる  
粘着作用 など
- ・ 様々な形状の皮膚保護材があります。  
粉状  
用手成形  
板状 など

# ★ストーマ用品

## ：粉状皮膚保護材（パウダー）



しんしゅつえき

- ・ただれからの浸出液がある場合などに、少量散布することで浸出液を吸収・ゲル化し、皮膚を保護しつつ、貼りつきをよくします。
- ・多く散布すると、装具の貼りつきを悪くさせるため、少量散布とします。多くかかってしまった場合は、軽く払い落としてから貼付します。

# ★ストーマ用品

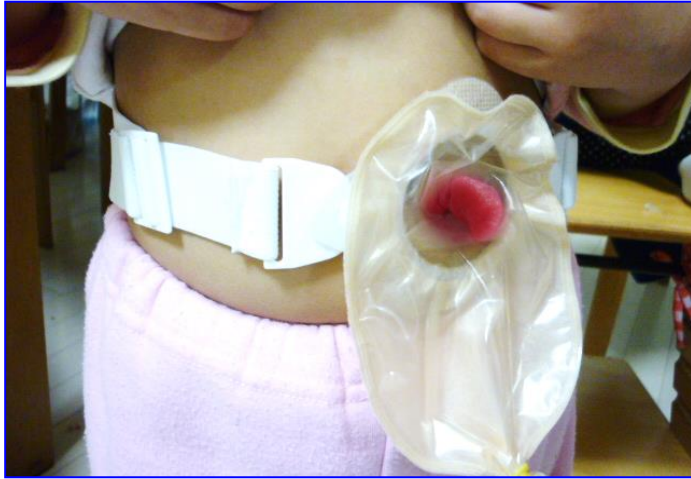
ようしゅせいけいひふほござい

## ： 用手成形皮膚保護材

- ・ ストーマ周囲のしわやくぼみを補正し、ストーマ装具の密着を高め、耐久性を高めます。
- ・ ハサミで切る、手で伸ばす、ちぎるなどして、大きさや形・厚みを自由に成形できます。
- ・ 皮膚に直接貼りつけても、面板に貼りつけても使用できます。



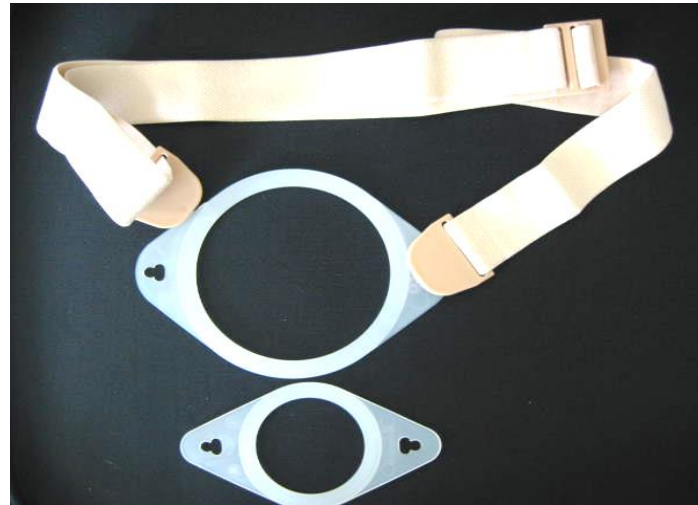
# ★ストーマ用品：ストーマ用ベルト



- ・ストーマ装具にベルトを連結させることで、腹部との密着性を高めます。
- ・小児用装具では、ベルト連結部がついているものは限られます。



ベルト連結部のある装具に  
ベルトをつけた状態



ベルト連結部のない装具でも  
ベルトを利用できるプレート

# ★ストーマ用品の購入について

- ・ストーマ用品は薬剤のように処方することはできません。
- ・ストーマ用品を取り扱う販売店で購入します。  
店舗での直接購入以外に、電話やネット注文で自宅に配送してもらう方法があります。

# ★ストーマ用品の購入について

- 永久ストーマの場合、身体障害者手帳の交付をうけることができます。

身体障害者手帳の交付を受けることで「日常生活用具の給付」を利用し、ストーマ用品の給付を受けることができます。

自治体により、給付対象となるストーマ用品や、所得制限、自己負担額、上限額の設定があります。

# ★ストーマ用品の購入について

- ストーマ用品購入の費用が、他の医療費との合計で年間10万円を超えた場合、医療費控除の対象となります。

医師が記載する「ストーマ装具使用証明書」と領収書を確定申告の際に提出します。

- 「小児慢性特定疾病対策」の対象疾病によりストーマを造設した場合、身体障害者手帳の対象でなくても、「日常生活用具の給付」としてストーマ用品の給付を受けることができます。

# ★ストーマケア

① 保育園/幼稚園、小学校でも  
必要なストーマケア（毎日必要なストーマケア）

ストーマ&便の観察

ストーマ装具にたまる便やガスの破棄

② 保育園/幼稚園、小学校で  
必要になるかもしれないストーマケア  
（数日毎に必要なストーマケア）

ストーマ装具の交換



①保育園/幼稚園、小学校でも必要なストーマケア

## ★ストーマ&便の観察

ストーマ装具を貼付したままの状態、ストーマの色・形  
出血の有無、便の状態を確認します。



日頃の状態を把握しておき、  
異常に気付けるようにしておき  
ます。

いつもと異なる点があれば、  
保護者に伝えましょう。

①保育園/幼稚園、小学校でも必要なストーマケア

# ★便やガスの破棄

## タイミング

乳幼児であれば、昼寝前／食事前／オムツ交換時などに  
学童であれば、体育の時間前／給食前後などに、ストーマ  
装具への便・ガスのたまり具合を確認します。

- ・ 装具に1/3～1/2程度便がたまったら破棄します。
- ・ 便がたまっていなくてもガスで膨らんだらガスを抜きます。

自宅では、どのようなタイミング・方法で、  
便破棄をしているか？を保護者に確認して  
おきましょう。

①保育園/幼稚園、小学校でも必要なストーマケア

# ★便やガスの破棄

## 破棄方法

- ・ 排出口を一度上にむけ、キャップなどの閉鎖具を外します。
- ・ 排出口を下にむけ、便を破棄します。  
乳幼児であれば、使用済みの紙おむつやビニール袋などを利用し便を破棄します。  
成長に伴って、ストーマ装具から便器に直接破棄する練習をします。
- ・ 排出口をトイレットペーパーで拭き取り、閉鎖具を閉めます。

②保育園/幼稚園、小学校で必要になるかもしれないストーマケア

## ★ストーマ装具の交換

- ・ストーマ装具は、数日（1日～5日程度）に1回のペースで定期的に貼り替えを行います。
- ・貼り換え間隔は、装具からの便の漏れの様子や皮膚の状態、費用負担などをふまえて設定します。
- ・貼り換え予定日でなくても、便の漏れが生じたら速やかに貼り換えます。

定期的貼り換えは自宅で実施しますが、不意の漏れが生じた場合、児の年齢やセルフケア習得状況によっては、手助けや直接のケアをお願いします。

# ★ストーマ装具の交換 ①物品の用意



新しいストーマ装具  
お湯か水・ガーゼ・洗浄剤  
ビニール袋

必要に応じて用意するもの  
衣類を止めるための洗濯バサミ  
ビニール袋を腹部に固定する  
ためのテープ  
剥離剤・皮膚保護材・手袋  
ハサミ・マジックなど

必要な物品はひとりひとり異なります。  
あらかじめ、保護者に必要物品と  
手順を確認しておきます。

# ★ストーマ装具の交換 ②準備



手を洗い、物品を使いやすいように準備します。

- ・テープは切っておく
- ・剥離剤の蓋は開けておく など

衣類を汚さないように洗濯ばさみで衣類を止めるなど配慮します。

便が溜まっていれば破棄します。

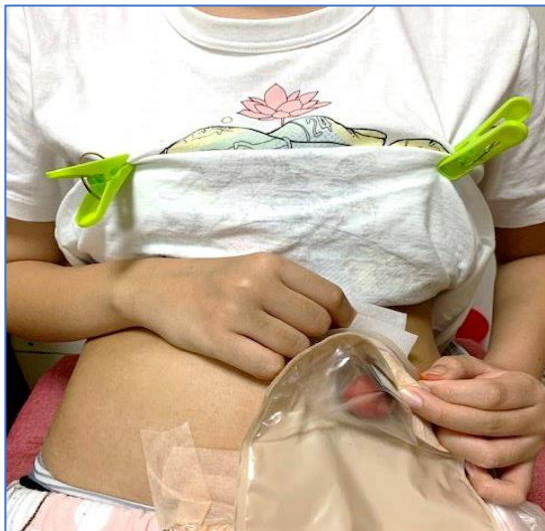
# ★ストーマ装具の交換 ②準備



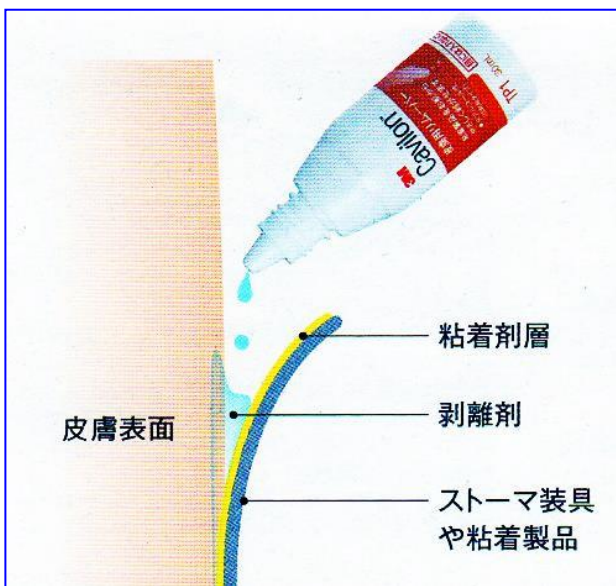
不意の排便にもあわてないように、必要に応じてビニール袋をテープで腹部に固定します。便が流れる方向を意識し隙間がないように固定することが大切です。

テープで固定しない場合でも、下着にビニール袋を引っ掛けるなど衣類を汚さないように配慮します。

# ★ストーマ装具の交換 ③袋を剥がす



装具を上から下へ向かって剥がします。  
無理に剥がすと、皮膚を傷つける原因となるので、引っ張らず、指で皮膚をおさえながら剥がしたり、剥離剤を利用して優しく剥がします。



剥離剤はしみ込ませるのではなく、皮膚と剥がしたいものの間に滑り込ませるように使用します。



# ★ストーマ装具の交換 ③装具を剥がす



剥がしたストーマ装具はすぐにビニール袋に入れて、口を縛ってしまうとよいでしょう。ビニール袋の口を縛らずに置いておくと臭気が室内に広がります。

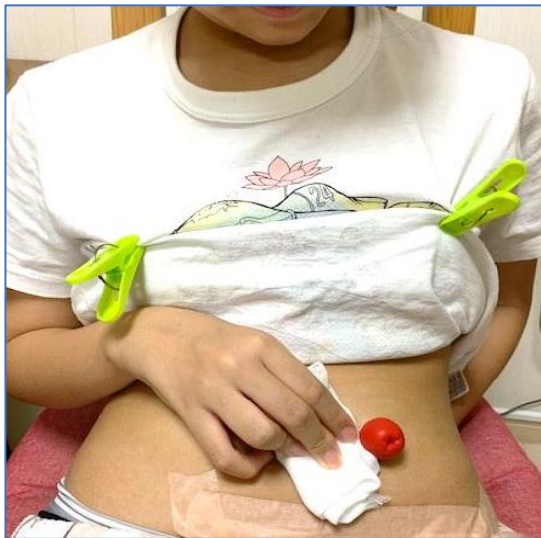
# ★ストーマ装具の交換 ④洗浄



便を軽く拭き取った後、  
ストーマと周囲の皮膚を洗浄剤で  
洗浄します。

ストーマ自体に洗浄剤が付いても  
問題ありません。

# ★ストーマ装具の交換 ④洗浄



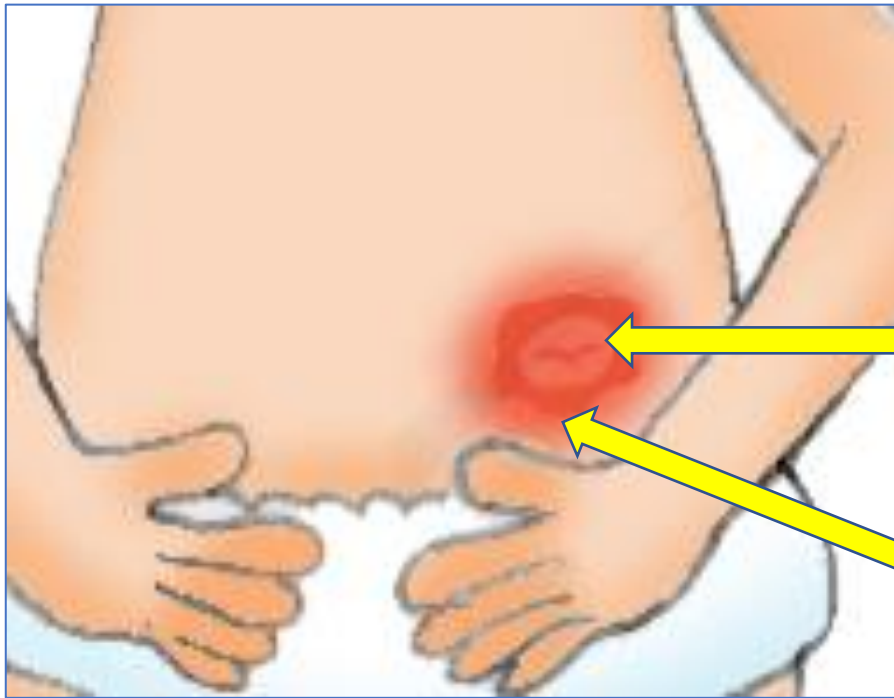
石鹸分を、お湯や水で濡らしたガーゼで拭きとるか、洗い流します。

乾いたガーゼやタオルで皮膚を押さえ拭きし、水分をとります。

強くこすらないように洗浄します。洗浄剤が残るとかゆみが生じることがあるので丁寧に拭きとり/洗浄しましょう。

お湯や水を用いた拭き取りや洗浄が難しい場合には、ガーゼなどで拭き取るタイプの洗浄剤を利用するのも良いでしょう。

# ★ストーマ装具の交換 ⑤観察



ストーマと周囲の皮膚を観察します。

- ・ストーマ  
色・大きさ・傷/出血
- ・周囲の皮膚：  
赤み・皮むけ・かぶれ

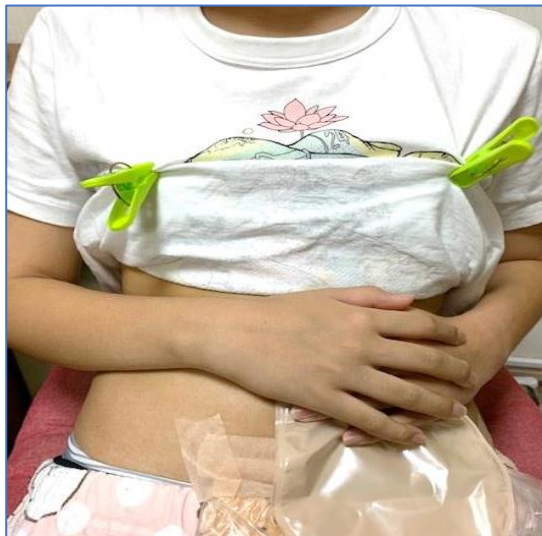
# ★ストーマ装具の交換 ⑥装具の準備



必要に応じて、  
ストーマの大きさや形にあわせて、  
ストーマ装具の面板をカットします。  
ストーマよりも全周1～2mm  
程度大きくカットします。

基本的には、自宅でカットした装具を  
持参してもらい、保管しておく方が  
よいでしょう。

# ★ストーマ装具の交換 ⑦装具を貼る



皮膚が湿っていないか確認し、ストーマ装具の向きを意識しながら貼りつけます。

最初の粘着が重要です。

ストーマに近い部分をしっかりと押さえて密着させます。

その後、面板全体を温め・密着させるように手の平全体でしっかりと押さえます。

# ★ストーマ装具の交換 ⑧片付け



便はトイレに流します。  
使用済みのストーマ装具は新聞紙  
などにくるみ、ビニール袋に入れて  
口を結び破棄します。  
地域の分別ゴミの指定に従って、  
ゴミに出します。

使用した剥離剤やはさみなどは、  
汚れていたらきれいに拭き取り、  
清潔に保てるようにします。

手を洗い、衣類を整えて終了です！

# ★ストーマ用品の保管



- ・ 不意の漏れに対応できるように、数組のストーマ用品を保管しておきます。
- ・ 保管場所は、直射日光の当たらない気温の変動が少ない場所が適しています。

使用したら補充してもらおうよう保護者に伝えます。



# ★成長過程でのストーマケア

- 成長に伴い、ケア中に動いたり手を出すことがあります。おもちゃを持たせたり二人がかりでケアを行うことが必要となるかもしれません。
- 寝返りやはいはいなど動きの活発化に伴い、ストーマ装具のはがれが増えたり、児が自分で剥がすこともあるでしょう。
- ミルク⇒離乳食⇒普通食へと食事に変化するにつれて、便の硬さや臭気は変化します。

\* これらは、児の成長発達と考えると、本来喜ばしいことです。  
マイナスに考えず、成長にあわせて、ケア方法を工夫します。

# ★成長過程でのストーマケア

## ストーマケアの自立と集団生活

- ・ 長期にストーマを必要とする場合、成長に伴いケアは家族から本人へと移行されます。
  - ・ 元々の病気やハンディキャップとの兼ね合いですが、小学校入学の頃に本人がケアを習得できていると活動範囲を広げやすいかもしれません。
- \* 実質的なケアの他に、清潔/不潔の意識や、周囲の人たちへの配慮などを日頃から本人に伝えていく必要があります。

# ★成長過程でのストーマケア

## ストーマケアの自立と集団生活

- ・ 幼稚園/保育園入園・小学校入学において、こういった協力が得られるかは、自治体や各園・各小学校の方針により差があるようです。
- ・ 児の年齢やセルフケア習得状況によっては、園や学校で職員の方の手助けや直接のケアが必要になることがあるかもしれません。  
ご協力をお願いいたします。

# ★日常生活 食事・おやつ

## 便が軟らかくなりやすい食品

冷たい飲み物

トマト、キャベツなどの生野菜  
ブドウ、ミカン、モモ等の生果物等

## 便の臭いを強くする食品

にんにく、ネギなどの有臭食品  
肉類やチーズなどの高脂肪食等

## 便の臭いを抑える食品

オレンジジュース・パセリ  
レモン・ヨーグルト等

## 便が硬くなりやすい食品

米飯・パン・うどん  
もち等

## 消化の悪い食品

海藻類（ワカメ・コンブ・ヒジキ等）  
キノコ類、もやし、トウモロコシ  
こんにゃく等

ストーマがあるからといって、食べていけない食品はありませんが、消化や吸収に問題のある場合は注意が必要です。

給食に関して、特別な配慮が必要か？  
保護者と相談しておきましょう。

# ★日常生活 食事・おやつ

## ガスに関する問題

ガスが多くて、ストーマ装具がすぐに膨らんでしまうことがあります。

原因として、ガスを発生しやすい食品の摂取が多かったり、食事と一緒に空気を飲み込む、啼泣 などが考えられます。

## ガスが発生しやすい食品

アクの強い食品・豆類  
脂肪の多い食品・炭酸飲料

## ガスの発生を抑える食品

ヨーグルト・乳酸菌飲料等

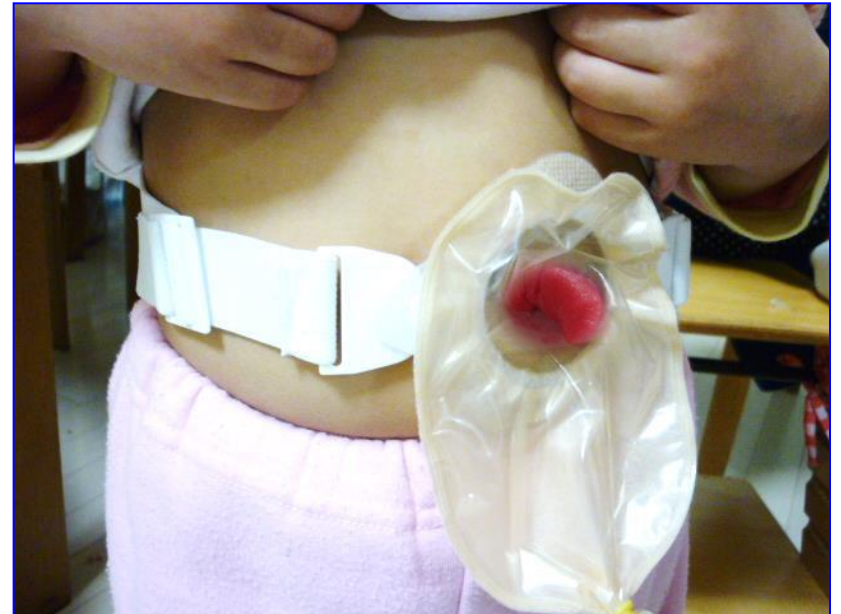
# ★日常生活 小腸ストーマの場合

- 消化の悪い食品を一度に多く食べると便が出にくくなる  
ことがあります。消化の悪い食品は一度に多く食べない  
ように注意します。
- 水分が多い状態で便が排泄されるため、脱水にならない  
よう注意が必要です。
- 便の量やゆるさ（硬さ）に注意し、いつもと著しく異  
なっていないかをみていきます。

水分補給に関して、特別な配慮が必要か？  
保護者と相談しておきましょう。

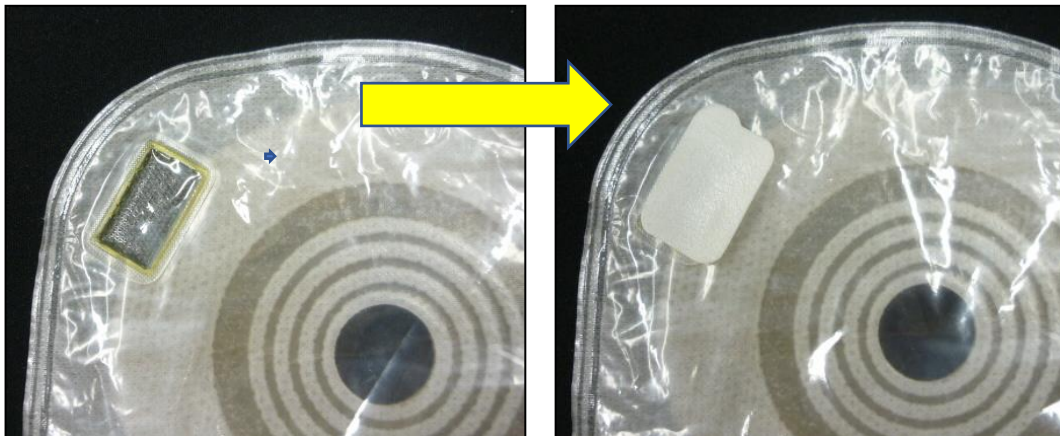
# ★日常生活 衣類

- ・ズボンのゴムやベルトでストーマ部が圧迫されないような衣類がよいでしょう。
- ・本人が触ったり、外してしまうようなことがあれば、上下つなぎの衣類・腹帯（腹巻）・ストーマ用ベルトの使用なども検討します。



# ★日常生活 入浴

- ・ ストーマ装具を貼ったままでも、外した状態でも入浴できます。入浴中も便が出る可能性はあるので、集団で入浴する場合には装具を貼ったままとします。
- ・ 中が見えにくい肌色の装具や、入浴用の小さい装具も市販されています。



脱臭フィルターは濡れると目詰まりするものがあり、その場合、入浴時は付属のシールでカバーが必要です。



# ★日常生活 運動

- ・たいていの運動は問題ありませんが、腹部に強い圧迫が加わるような運動には注意が必要です。  
例えば、鉄棒での前回り・逆上がりなどで、腹部に鉄棒が押し付けられるようなことは避けます。

# ★日常生活

# 水泳・水遊び

- ・ ストーマ装具を貼った状態で、水泳や水遊びも可能です。事前に便は破棄し、しっかり貼付されていて便の漏れがないことを確認しておきます。



耐久性を考え、面板の縁をテープで補強してもよいでしょう。



ストーマ部を水着でカバーできるよう配慮が必要です。男児であっても、腹部をしっかりカバーできるものがよいでしょう。

# ★まとめ 保護者とあらかじめ 話し合っておきたいこと

## ・日常ケア

①便破棄・ガス破棄のタイミングと方法

②食事・水分補給の注意点

③水遊び・水泳や運動への参加 など

## ・トラブル時の対応（保護者に至急連絡するか？など）

①便やストーマの観察で、いつもと異なる点があった

②ストーマ装具が剥がれた

③ストーマ装具交換時、皮膚のただれなどを発見した

など

# ★まとめ 必要に応じて配慮して いただきたいこと

## ・集団生活（主に小学校）

休み時間に個室トイレが混んでいた場合の対策

洋式トイレの確保

予備のストーマ用品の置き場の確保

便破棄のタイミングの声掛けとフォロー

男児が個室トイレを利用することへのフォロー

衣類を汚した際のフォロー、衣類の置き場や着替え場所の確保

トイレを汚した場合のフォロー（低学年ではトイレの掃除までは  
難しいかもしれないため）

など